

6次産業化促進研修交流会

6次産業化を進めるにあたっては、それぞれの事業者が総合力や組織力を発揮しながら取り組みを行っていますが、資金やノウハウ、販路拡大などに関する課題もあります。

こうした事業者の皆様との課題共有をするとともに、実際に商品開発を進めていくためのポイント等の習得や、今後のためになるワークショップを取り入れた研修交流会を開催しますので、ご関心のある事業者の方は、ぜひご参加ください。

□日時

3月9日（金）
10：00～15：30

□会場

鳥取中央有線放送(株)
湯梨浜支局 大会議室

□主催

・鳥取県JA6次産業化連絡会

J A 鳥取県中央会・J A 鳥取信連
J A 共済連鳥取・J A 全農とっとり

・公益財団法人 鳥取県産業振興機構
(鳥取6次産業化サポートセンター)

□受講対象者

- ・6次産業化に取り組んでいる生産者
- ・今後取り組み意欲のある生産者
- ・食品加工業者
- ・食品販売事業者

□申込方法

別紙の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはEメールでお申し込みください。

□定員

40名
※定員になり次第、締め切らせていただく場合があります。

□申込締切

3月2日（金）

□研修日程

≪午前の部 10：00～≫

◆『6次産業化について』

- ・6次産業化とは、商品の売り方について

◆『6次産業化の取り組み事例』

- ・県内の取り組み事例について

◆『商品づくりについて』

- ・これから商品開発をする、既存商品をより良くするポイントを学習します。

≪午後の部 12：40～≫

◆『商談の手法について』

◆『グループワーク』

- ・グループに分かれて模擬商談を行います。模擬商談は講師がバイヤー役となり、商談の様子を学ぶとともに、商品についての評価指導などを受けます。

◆『6次産業化を進めるにあたっての情報提供』

※研修会終了後に『個別相談会』（申込者のみ）を開催します。

□講師・事例発表者

裏面をご覧ください。

□その他

- ・受講料は**無料**です。
- ・グループワークで受講者の取扱商品を使用しますので**商品をお持ちの方は必ずご持参ください**。
- ・全日程参加の方には昼食を準備します。
- ・個別相談会参加希望者は、申込書と併せて、**F C P シートをご提出ください**。

□申込み・お問い合わせ先

◆鳥取県JA6次産業化連絡会事務局
担当：JA鳥取県中央会 農政広報部 奥田
TEL：0857-21-2608 / FAX：0857-37-0052
E-mail：ja31nousei@true.ocn.ne.jp

◆鳥取6次産業化サポートセンター
担当：(公財)鳥取県産業振興機構 新事業推進部 澤
TEL：0857-52-6704 / FAX：0857-52-6673
E-mail：ksawa@toriton.or.jp

◎講師・事例報告発表者のご紹介◎

◆講師

すえひろ たかお

中央6次産業化プランナー 末弘隆雄 氏

<プロフィール>

- ・フーズエコ代表
- ・25年間、関東エリアにて食品の営業活動に従事
- ・一般食品スーパーマーケットを始め、食品に携わる業界への販路から、中間流通問屋などの商流に携わっています。
- ・平成27年2月より、福島県で風評被害を受けた舞茸の販路縮小傾向の改善のため、首都圏への販路支援を実施。同年3月より北関東圏エリアのスーパーマーケットへの販路開拓を継続して実施中です。



<専門分野>

- ・商品開発(パッケージデザイン)
- ・販売支援
- ・品質管理

◆講師

きしもと じゅんこ

鳥取県6次産業化プランナー 岸本純子 氏

<プロフィール>

- ・株式会社ナレッジリンクス代表取締役
- ・中小企業の販路開拓や営業支援に携わる一方で、県内外の6次産業化のコーディネーターとして、地域産品の開発に力を注いでいます。
- ・一次産業者目線で、小さな課題でも親切丁寧に対応いただけることから、県下でも人気のプランナー。
- ・多くの指導実績があり、最近では商品開発やパッケージデザインの改良に携わりました。



<専門分野>

- ・新商品開発の方法
- ・地域資源の利活用(未利用、観光資源等)
- ・農業者と食品産業のマッチング
- ・デザイン、広報戦略 など

◆事例報告者

有限会社 真栄農産

ふじい よしひと

代表取締役 藤井義人 氏

<プロフィール>

- ・鳥取県出身の現在46歳
- ・倉吉工業高等学校卒業
- ・高校卒業後、倉吉市内の一般企業に入社
- ・約25年間、サラリーマンとして働いた後、平成27年6月に就農。



<法人について>

- ・平成6年に創業
- ・100年後にも農業ができる環境である為に、できる限りの有機質飼料・減農薬で土本来の特性を活かしたエコロジー栽培に取り組んでいます。
- ・平成23年には6次産業総合化事業計画認定事業者となり、栽培した農産物を加工販売しています。

◆事例報告者

ふるたに ようこ

ちづの農家旬菜屋 古谷葉子 氏

<プロフィール>

- ・京都府綾部市出身の現在40歳
- ・京都府立農業大学校に進学し果樹園芸を専攻
- ・卒業後は、京都府内の農業法人勤務を経て、スポーツクラブで約15年間勤務。
- ・平成26年4月に、先に智頭町へ移住し、就農していた夫との結婚を機に智頭町へ移住しました。
- ・同年夏頃から農業に従事し、ブドウ栽培、白ネギ栽培に携わる傍ら、以前から続けていた婚礼司会やイベント司会者としても活動をしています。
- ・平成29年2月より乾燥商品の販売を始めました。



<主な6次産業化商品>

平成29年2月より、乾燥ネギ、乾燥イタリアントマト、乾燥ブドウを順次発売